

平成25年度 第5回 常呂まちづくり協議会 会議要旨

◎日 時	平成25年11月18日(月)午後6時00分～
◎場 所	常呂総合支所 2F 第1会議室
◎出席者	協議会：8名 山内会長、田淵副会長、稲田委員、江田委員、寺町委員、 広瀬委員、横山委員、吉田委員
◎北見市	辻自治区長、山田総合支所長、竜滝主幹、土島市民環境課長、 表保健福祉課長、山崎産業課長、本所建設課長、秋保水産課長 事務局：須藤総務課長、川村地域振興担当係長、赤塚地域振興担当

開 会

山田支所長 : ただいまから、平成25年度 第5回常呂まちづくり協議会を開催いたします。

それでは、山内会長よろしくお願ひいたします。

会長 挨拶

山内 会長 : 挨拶

会議 成立

: 委員15名中 8名出席(自治区設置条例第7条第3項)

山内 会長 : 本日の協議会につきましては、概ね午後7時を目途に終了したいと考えておりますので、委員の皆様のご協力をお願いいたします。

山内 会長 : それでは辻自治区長から、ご挨拶をいただきます。

自治区長挨拶

自治 区長 : 挨拶

2.議 題

(1) 自治区内事業のあり方

山内 会長 : それでは早速、次第の2『議題』に入らせていただきます。

(1)「常呂自治区内事業の今後のあり方について」ですが、前回の協議会で審議しました、第6次実施計画に係る懸案事業の協議結果を基に、答申書(案)を作成しておりますので、事務局より説明いたします。

川村 係長 : 資料 答申書(案)に沿って説明

山内 会長 : ただいま事務局から、答申書(案)について説明がありましたが、これに関して、質問、または、修正意見などがあれば受けたいと思いますが、何かござ

いませんか。

委員 一同 : 質疑・意見なし

山内 会長 : それでは、ご意見が無いようですので、本答申書（案）を成案とし、答申することとしてよろしゅうございますか。

委員 一同 : 異議なし

山内 会長 : それでは、本答申書（案）を成案とし、来週の25日に市長に答申することといたします。

3. その他

山内 会長 : 次に「その他」でございますが事務局から説明事項があるということですので、少しお時間をいただきたいと思ひます。

須藤 課長 : 皆さまのお手元にお配りしております、北見市防災講演会ということで「暴風雪災害に備えて」についてのお知らせになります。

新聞等の折込チラシで周知をさせていただいておりますけれども、本年3月に北海道の東部を中心としまして9名の方が犠牲となりました暴風雪災害を受けまして、暴風雪に対する準備や普段からの心がまえ、今後の対応方法などに役立てていただくため、網走気象台並びに寒地土木研究所の専門の講師の方をお招きしまして、明日午後6時から中央公民館の大講堂で講演会を開催しますので大変お忙しいかと思ひますけれどもご参加いただければ幸いに存じます。また裏面には暴風雪災害に対します事前の備えや注意事項を作成させていただきましたので参考にさせていただければ幸いに存じます。

山内 会長 : ただいま事務局から北見市防災講演会の開催について説明がありましたが、これについて何か質問等ございませんか。

委員 一同 : 質疑・意見なし

山内 会長 : 以上で、本日の議題全てについて終了しました。

委員の皆様から何かございますか。

江田 委員 : 常呂高校の存続問題についてですが、意外と住民の皆さんがどれだけ大変になるかという重要度を感じていないのかなと思ひます。もし高校が閉鎖になった場合、その後10年、20年先にどういう形の町になるのかというシミュレーションが出てくれば住民の皆さんに伝わってくるのかなと思ひます。我々もある程度のおおまかな10年後はどのような形になるのか想像できます。例えば人口の減少が間違いなく起きると思ひます。我々の場合データをもっていないし、役所にはいろいろなデータがあるのでそのデータを使い、高校が閉鎖になった場合のシミュレーションを作成できればシミュレーションを上手く利用しながら存続問題につなげていければなと思ひたりするのですが、そんなことは可能なのでしょうか。

自治 区長 : 常呂高校につきましては、内々に常呂高校の先生とかと、この問題にどう関わっていくか検討しているところです。このことについては、教育委員会と話を詰めないとならないと思ひますので、もう少しお時間を貸して欲しいと思ひています。また、26、27、28年の部分については今のところ該当はしな

いというか配置計画の中では出ておりません。ただ、その後厳しい状況にはあると推測をせざるを得ないような状況にあるのですが、そのことを今から決めつけてかかるのはどうなのだろうという部分もあります。一度計画案も含めて常呂教育事務所も含めてなんらかのかたちで、お話をさせていただきたいと思っています。江田委員のお話の中のその後のシミュレーションを描くことは、今の段階でどうなのかなというのがあります。その前にこの問題に対してどう関わっていくかが大事なかなと思っています。

江田 委員 : 行政主導で積み上げていくのも大事だと思いますが、それ以上に常呂町民の思いが強くなれば教育局（北海道）に対してアピールの度合いが強くなるかもしれない、そういった部分でも今の状態が続けば来年度から2年続けて20人きるのは間違いないと思います。そうなったときになんらかの策を講ずるかたちにはなるとは思いますが、ただ、そうなる前に町民の意識を改革するような、なんらかのかたちで作っておかないとこの先厳しいのかなと思うので、早急に出していただければなと思います。

自治 区長 : 北見市として常呂以外も含めて、どう考えるのかという土台があってしかるべきかなと思っています。他の町の状況を含めて今までの状況の中ではかなり厳しい状況はあるように受け止めておりますので、なるべく早い段階で「これでいく」とか、「このようなかたちを考えているのだけれども」というようなことも含めて皆さんにお話できる状況を作っていきたいと思っていますので、もう少しお時間をください。

山内 会長 : 他にありませんか。
なければ、事務局から何かありますか。

開催 予定

川村 係長 : 次回の協議会の日程につきましては、今のところ未定となっております。案件等整い次第改めてご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

閉 会

山内 会長 : それでは、以上をもちまして、平成25年度 第5回常呂まちづくり協議会を終了いたします。お疲れ様でした。